

環境・下水道

市のエネルギー施策は どう進んだのか

幸田昌之議員(公明) ①学校施設以外の公共施設の照明機器の高効率化の進捗状況は。

②学校施設の照明機器の高効率化の進捗状況は。

市長 ①庁舎を中心に、蛍光灯を日型等へ、白熱電球をLED電球等へ交換を進めており、全体の進捗状況は約26%である。

教育長 ②小学校17校、中学校2校において体育館アリーナの照明を水銀灯のセラミックメタルハライド灯へ改修した。残りの学校についても順次改修していく。

歩きたばこやポイ捨て、受動喫煙に対する取り組みについて

山岸真知子議員(公明) ①歩きたばこや自転車運転中の喫煙に対して市の取り組みは。

②禁止条例を制定することで市民への周知を図れると考えるが市の見解は。

市長 ①商店会や事業所等とともに、喫煙マナーの向上等と呼びかける喫煙マナーアップキャンペーンを実施し、市内全域で

喫煙マナーアップキャンペーン



意識啓発に努めている。

②個人のモラルやマナーの意識が何よりも重要と考えており、条例の規制ではなく、引き続き、マナー意識の向上を図っていく。

市民の健康を守るため アスベスト対策をすすめよう

岩本博子議員(生ネ) ①大気汚染防止法と東京都環境確保条例が改正された背景は。

②アスベストの事前調査やその結果の掲示等をどのようにチェックしているか。

市長 ①解体工事でアスベストの飛散が推測される事例や飛散防止の十分な対応がとられていない事例が生じていることなどが背景にあると認識している。

②解体工事等の届け出の際に確認するほか、苦情等があった場合には現地を確認し、看板を掲示するよう指導している。

都市整備

小平都市計画風致地区及び小平市風致地区条例について

小野こういち議員(政和) ①風致地区に指定されている街道沿いの屋敷林や樹木等が減少している現状は、指定当初の風致地区の目的に沿っているのか。

②小平市風致地区条例は都の条例に準拠した内容だが、市の現況にあった条例にする考えは。

市長 ①一定の都市空間の確保等の効果はあったが、現在は指定当初のケヤキ並木等の趣が失われつつあると認識している。

②許可事務に混乱が生じないよう都と同一の基準とすることが望ましいと考える。

市民参加を保障しているか

末廣 進議員(共産) ①開発事業計画に対する小平市民等提案型まちづくり条例の効力は。

②開発事業は、自治基本条例第10条第3項で市が参加の機会を保障していると解しているか。

市長 ①地域の人々が条例に基づき、あらかじめまちづくりのルールをつくっておくことにより、その地域内において具体的な開発事業が起こった際に効果が発揮されると考えている。

②参加の機会が保障される事項には当たらないと解している。

上水新町、たかの台地域の声をまちづくりはどう生かすか

佐野都夫議員(政和) ①立川市、国分寺市との境界部分の道路の安全への対応は。

②鷹の台公園の整備予定は。③避難所等に指定されている立川市の市立学校等についての情報共有はどうなっているか。

市長 ①協定に基づき、道路を維持管理する市が安全対策を講じている。カーブミラー等の設置の必要性が生じた場合は協議をしながら対応している。

上水南町地域が抱える諸課題への対応について

佐野都夫議員(政和) ①喜平橋交差点の改良工事のその後の進捗状況は。

②災害時を含めて、地域の高齢者を地域の人が見守る体制の構築を支援できないか。

市長 ①都からはおおむね9割の用地取得が完了し、本年度は電線共同溝工事を行う予定と聞いている。

②自治会等への災害時要援護者登録名簿の提供や介護予防見守りボランティア事業等のさらなる推進を図り、多様な活動主体との連携強化を進めていく。

都市計画についての市民との情報共有について

日向美砂子議員(生ネ) ①優先整備路線に入っていない都市計画道路のうち、都道が事業化される際の市民への情報提供は。

②マンション建設のトラブルを予防するために情報提供の必要性を提案したが、研究状況は。

市長 ①事業着手の前段で、事業概要や測量に関する説明会を開催し、地域住民等をはじめとした市民へ情報提供をしている。

実現すべきだが市の見解は。

市長 ①交通の利便性の向上や地域経済等の活性化を図る役割を担っていると捉えている。

②都市基盤の再整備や交流拠点施設の整備の推進には、商店街等と連携を図ることによる民間活力、市民力の活用が必要と考えている。

次の子どもたちのためのまちづくりをみんなで考えよう

橋本久雄議員(虹ひ) ①地域連絡会について、全市的な課題であるという認識はあるか。

②無作為抽出の市民や有識者、職員による20年後、30年後の小平市を考える場を設定する考えはあるか。

市長 ①地域のことは地域で解決し、誰もが安全で安心できる良好な町を築き上げていくことは市内の各地域における共通の課題であると認識している。

②実施の際の課題や有効性等を見きわめながら研究していく。

津本裕子議員(公明) ①コミバス・コミタクなどの公共交通の役割をどう捉えているか。

子ども女性

妊産、出産、子育ての希望が持てる小平市の実現に向けて

磯山 亮議員(政和) ①第3子以降に対する補助制度である子宝手当等の他自治体の取り組みを参考に、市独自の支援制度を提案するが市の見解は。

②一般不妊治療に対する助成等、市独自の助成制度を創設することはできないか。

市長 ①26市中の類似団体9市では、特に実施していないと聞いており、現在のところ同様の事業を行う考えはない。

②引き続き、都の不妊治療費の助成について広報に努める。

女性が輝く小平を目指して

山岸真知子議員(公明) ①女性が働き続けることができる環境づくりを進めるために、企業に対して市ができる支援は。

②妊娠期の早い時期からトータルな支援を充実すべきでは。

市長 ①企業に対する支援策は特になが、事業者も含めたワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発を推進しており、今後も継続的に働きかけていく。

②さまざまな機会を通じて出産や子育てに支援を必要とする家庭を把握し、保健師等による継続的な支援を行っている。引き続き現在の体制の中で妊娠から産後までの支援を行っていく。

○市の子どもの女性

○市の子どもの女性

市議会1年間の記録(平成26年1月~12月)

[本会議]					[請願・陳情]							
名称	会期	本会議日数	会議延時間	傍聴人数	前年からの継続分	受理	採択	不採択	取り下げ	審議未了	継続審査	文書表付
3月定例会	2/25~3/26	5	32:06	45	0	7	5	1	1	0	3	0
6月定例会	6/3~6/25	5	25:35	47	0	9	0	0	0	0	0	9
9月定例会	9/9~9/30	5	36:37	101	0	16	5	1	1	0	3	9
12月定例会	11/25~12/19	5	30:53	81	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	—	20日	125時間11分	274人	0	16	5	1	1	0	3	9

[常任委員会]					[特別委員会]				
委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数	視察調査回数	委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数	視察調査回数
総務委員会	6	24:56	105	5	まちづくり検討	2	4:39	7	2
生活文教委員会	8	12:11	13	3	議会改革推進	7	13:57	12	0
厚生委員会	5	18:37	26	6	一般会計予算	3	31:50	12	0
建設委員会	6	8:54	36	7	特別会計予算	1	8:46	3	0
合計	25日	64時間38分	180人	21回	一般会計決算	3	31:23	7	0
					特別会計決算	1	8:17	2	0
					合計	17日	98時間52分	43人	2回

[議会運営委員会]				
委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数	視察調査回数
議会運営委員会	9	7:17	5	—
議会運営委員会(付託案件審査)	—	—	—	—

[全員協議会]		
開催日	会議延時間	傍聴人数
2/10	1:40	2

※傍聴人数には報道関係者、音声傍聴含む。
※このほか、6月と11月に市民と議会の意見交換会を開催しました。

掲載分以外の質問項目

○防犯カメラの設置について、検討の場を設けよう

○再び、もし小平市が100人の村